ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース

2026年度 実施報告書

開 催 期 間：2026年 8月 3日(月) ～ 9月 30日(水)
受　講　生 ：全国の大学の理系学部に在学する学生・大学院生 469名(110大学)

概　要

富山くすりコンソでは、将来の医薬品産業を担う人材の育成と確保を目的に「ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース」を開催しています。2026年度は、全国の大学の理系学部から過去最多となる 469名(110大学) の受講申込みがありました。国内のみならず、海外の大学に在籍する学生も参加し、「くすりの富山」の強みを生かした特色ある人材育成プログラムとして、学びの輪が国内外へと広がりを見せています。

8月 3日(月) から 9月 30日(水) まで、創薬、製剤、バイオ医薬、和漢薬などの医薬品分野を体系的に学べる「オンライン専門講座」に加え、9月 16日(水) から 3日間にわたり「現地企業体験会」を開催し、県内製薬企業での体験や若手社員との交流を通じて、「学ぶ」だけでなく、「現場を知り、自分の将来を考える」機会を提供しました。

こうした多彩なプログラムを通じて、受講生の皆さんには、富山県の特色や研究環境、医薬品産業などへの理解を深めていただき、所定の課程を修めた 166名には、修了証書を交付しました。

内　容

1. 入校式・オリエンテーション
2. オンライン(ライブ・オンデマンド) による 44の専門講座を配信　　※ プログラムは募集チラシ参照
3. 現地企業体験会　　※詳しくは４ページ参照

受講生

全国の大学の理系学部に在学する学生・大学院生 469名(110大学)

＜ 所属別 ＞

北海道(3)、弘前(1)、岩手(2)、東北(8)、東北工業(1)、秋田県立(3)、山形(2)、福島(1)、茨城(1)、筑波(6)、宇都宮(3)、国際医療福祉(1)、高崎健康福祉(1)、埼玉(2)、日本薬科(1)、城西(1)、千葉工業(6)、東京(7)、お茶の水女子(5)、東京農工(6)、東京海洋(2)、東京科学(6)、東京都立(1)、帝京平成(1)、北里(7)、慶應義塾(5)、芝浦工業(10)、順天堂(1)、昭和医科(2)、中央(1)、東京農業(2)、東京薬科(14)、東京理科(12)、東邦(1)、東洋(1)、日本(24)、日本女子(1)、星薬科(9)、明治薬科(5)、立教(4)、帝京(3)、日本獣医生命科学(2)、創価(1)、東京工科(2)、横浜国立(4)、総合研究(1)、横浜市立(2)、神奈川(1)、横浜薬科(1)、長岡技術科学(1)、富山(44)、富山県立(22)、金沢(9)、北陸(1)、福井県立(1)、福井工業(1)、信州(3)、岐阜(4)、岐阜薬科(1)、岐阜医療科学(2)、静岡(2)、静岡県立(2)、名古屋(4)、名古屋市立(3)、愛知学院(1)、金城学院(1)、名城(1)、豊田工業(1)、中部(4)、三重(3)、京都(10)、京都工芸繊維(1)、京都府立医科(1)、京都産業(1)、京都薬科(5)、同志社(1)、立命館(1)、大阪(8)、大阪公立(4)、大阪医科薬科(1)、近畿(3)、神戸(5)、兵庫県立(1)、神戸薬科(7)、武庫川女子(5)、兵庫医科(4)、神戸情報(1)、奈良女子(7)、奈良先端科学技術(10)、鳥取(11)、島根(2)、岡山(11)、岡山理科(1)、広島(6)、山口(2)、山陽小野田市立山口東京理科(11)、徳島(2)、愛媛(9)、九州(5)、久留米(1)、福岡(3)、佐賀(1)、長崎(14)、熊本(7)、崇城(1)、宮崎(3)、鹿児島(2)、マッコーリー(豪州)(1)、メルボルン(豪州)(1)、パデュー(米国)(1)

＜ 専攻別 ＞

薬学系(189)、理工学系(171)、医学系(41)、農学系(30)、畜産・獣医学系(10)、水産学系(4)、その他(24)

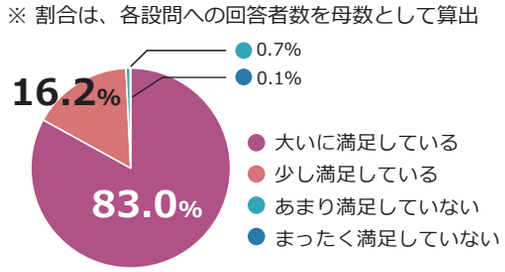
※1（　）内は受講者数を記載　　※2 名称中の「大学」「大学院大学」は省略

受講生からの声

Q 44のオンライン専門講座に対する受講生の満足度

99.2%の受講生が「満足している」と回答

※ 割合は、各設問への回答者数を母数として算出



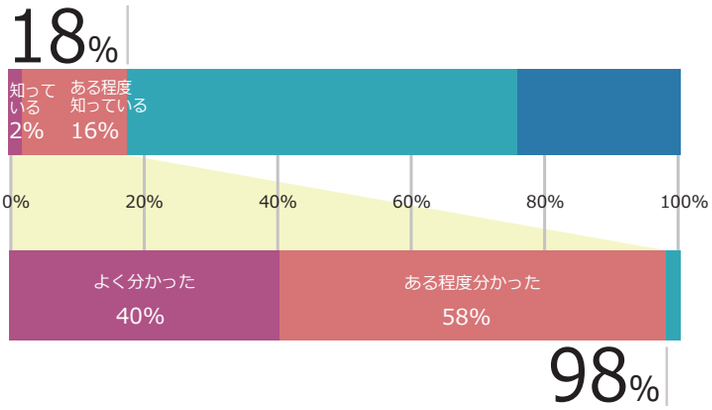
Q 富山県の研究環境（大学・公的研究機関）の認知度

受講前 **富山県の研究環境についてどの程度知っていますか**

知っている	2%
ある程度知っている	16%
あまり知らない	58%
知らない	24%

受講後 **富山県の研究環境についてどの程度知ることができましたか**

よく分かった	40%
ある程度分かった	58%
あまり分からなかった	2%
分からなかった	0%



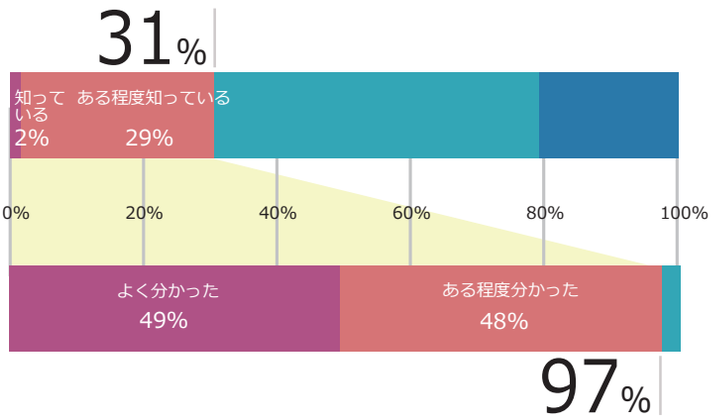
Q 富山県の医薬品産業の認知度

受講前 **富山県の医薬品産業についてどの程度知っていますか**

知っている	2%
ある程度知っている	29%
あまり知らない	49%
知らない	21%

受講後 **富山県の医薬品産業についてどの程度知ることができましたか**

よく分かった	49%
ある程度分かった	48%
あまり分からなかった	3%
分からなかった	0%



Q 将来の就職を考えたとき富山県内の医薬品産業等の就職先の魅力

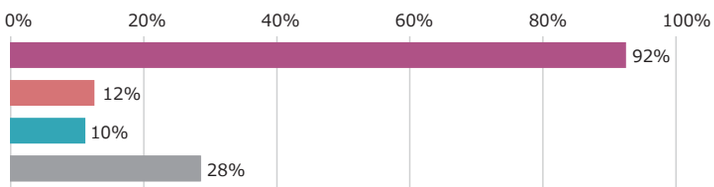
とても魅力がある	30%
魅力がある	63%
あまり魅力がない	7%
魅力がない	1%



Q 希望する就職先（複数回答可）

製薬企業	92%
病院	12%
薬局	10%
その他	28%

※ 複数回答のため100%超過

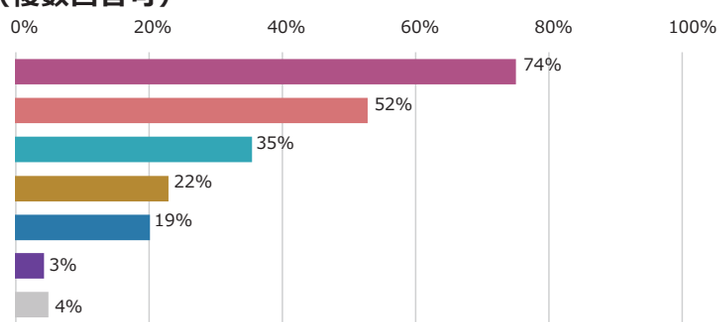


※その他：大学・各種研究機関、メーカー（化学、化粧品、食品、自動車等）、公務員等

Q 製薬企業への就職を希望する場合の志望職種（複数回答可）

研究・開発	74%
品質管理	52%
品質保証	35%
薬事・学術	22%
製造	19%
事務系	3%
その他	4%

※ 複数回答のため100%超過



富山県の研究環境、医薬品産業の認知度向上

受講生からの感想

受講生からは、創薬の最新動向や研究開発、製造・品質管理等の医薬品に関する幅広い知識を学び、富山県の医薬品産業や研究環境への理解が深まったほか、今後の研究やキャリアを考える上でも有意義だったとの感想が寄せられています。

●各講座に寄せられた感想

○世界的な創薬のトレンドやスタートアップ企業の動向を知り、AIやバイオ技術などの新しい技術が創薬に活用されていることが印象に残った。今後の医薬品開発では、企業間の連携や新しい技術を取り入れることが重要だと感じた。

○レギュラトリーサイエンスという考え方を知り、その観点で重要な、創薬に関わるさまざまな概念や現状について理解できた。その中でも TPP(Target Product Profile)や創薬エコシステムといった概念は重要な割に聞いたことが無く、勉強になった。

○WEB企業体験会では、会社の雰囲気、研究開発における姿勢、そして若手研究員の話を聞いて、ワクワクした。

○研究の再現性や、実験ノートの話が学びになった。私はこれから研究室に配属され研究を行うので、この知識を生かしたい。

●富山県の医薬品産業について

○富山県の製薬産業の歴史や現状に加え、日本全体の課題なども知ることができた。

○富山が歴史ある薬の産地であることが分かった。富山の製薬企業が特色ある技術を武器に事業を展開していることが分かった。

○新しいモダリティや製造技術にも対応しながら、医薬品を安定して患者へ届けるための取り組みが行われている点に、富山県の医薬品産業の将来性を感じた。

○PMDA北陸支部が富山県に置かれ、県内の製造所がアジアの規制当局向け GMP研修の場となっていることを知った。富山の製造現場の品質管理水準の高さを示していると感じた。

●富山県内の医薬品産業等の就職先としての魅力について

○富山県から製薬産業を盛り上げていることやその土地に根付いた産業を行っていること、人が温かいこと、山も海もあり自然が豊かなことに魅力を感じた。

○富山は医薬品産業が集積しており、品質管理や製造開発など幅広い就職先がある点に魅力を感じた。自分の専門性を活かせる就職先としてとても良いと思った。

○富山県は医薬品関連の企業や研究機関がコンパクトに集積しているため、企業同士や大学・研究機関との連携がしやすい環境であることに魅力を感じている。
様々な企業や研究機関が近い距離に集まっていることで、異なる分野の知識や技術に触れる機会も多く、研究や産業の発展にもつながっていると感じた。このような環境の中で働き、幅広い知識や経験を身につけたいと考えている。

●富山県の研究環境（大学・公的研究機関）について

○富山大学や富山県立大学だけでなく、富山県薬事総合研究開発センターなどの公的研究機関があり、大学・企業・行政が連携して医薬品の研究開発や人材育成を行っていることが印象に残った。

○大学や公的研究機関がそれぞれの専門性を生かし、基礎研究から医薬品の開発、製造、品質管理まで幅広い研究に取り組んでいることが分かった。特に、大学内で得られた研究成果を学術的な知見にとどめず、企業や関係機関との連携を通して実用化へつなげる環境が整っている点が印象に残った。

○創薬だけでなく、薬の品質や育薬、漢方薬など、薬の研究がとても多様だと感じた。

●コースの内容について

○本コースを通して最も参考になったのは、一つの医薬品が患者へ届くまでの過程を、基礎研究、非臨床・臨床開発、製造、品質管理、承認後の安全対策という幅広い視点から学べたことである。専門外の分野も含めて医薬品開発の全体像を体系的に理解でき、今後の研究や進路を考える上で非常に有意義な機会となった。

○ライブ配信の授業を受けられなくてもオンデマンド配信があったためとてもありがたかった。そして、現地企業体験を参加する機会もいただけて実際に自分の目で見て感じたり現地の人や他の大学の人との交流を通じて視野を広げられたし、とても刺激になった。

○実際の富山をはじめとする日本の製薬業界の事情や研究について自分で調べるのには限界があると思う。このプラグラムでは医薬品に関する様々な知見を得ることができるため、特に製薬業界への就職を考えている人は参加をオススメしたいと思う。

●全体を通して

○去年に引き続き受講したが、今年はバイオ医薬品や製造現場に関する実践的な内容が多く、来春からバイオ医薬品の現場で働く予定の自分には、とても参考になった。

○以前から医薬品について興味があったものの、これまで詳しく学ぶ機会が少なかったため、今回の講義を通してさまざまな知識を得ることができ、貴重な機会となった。西洋医学だけでなく、漢方など幅広い内容について学ぶことができ、医薬品への興味がさらに深まった。

○これまで富山県について詳しく学ぶ機会が少なかったため、医薬品との関わりを中心に地域の特徴を理解できたことは有意義であった。一方で、交通や生活環境、医薬品以外の産業や文化についてはまだ十分に理解できていないため、今後さらに知りたいと感じた。

現地企業体験会

今回で 3回目となる「現地企業体験会」を開催しました。現地企業体験会には、NPE受講生 469名のうち、希望者から選抜された 24名が参加し、県内製薬企業を訪問し、製造現場の見学や体験、先輩社員との交流などを行いました。参加者にとって、県内製薬産業への理解を深め、将来の進路やキャリアについて考える機会を提供しました。

● **実 施 時 期** 2026年９月 16日(水) ～ 9月 18日(金)

● **参　加　者** 24名(県外大学 22名、県内大学 2名)

〈所　属〉岩手、秋田県立、千葉工業、東京、お茶の水女子(2)、東京薬科、日本女子、横浜国立、横浜市立、富山(2)、岐阜医療科学、京都、立命館、大阪、神戸薬科、奈良先端科学技術、岡山、愛媛(2)、九州、長崎、宮崎

※1 名称中の「大学」「大学院大学」は省略

※2 参加者が複数所属する大学は、大学名の後の(　) 内に人数を記載

●プログラム

初日	○集合研修：富山県の医薬品産業の振興に関する講義等 ○参加学生との交流会
2日目	○県内製薬企業訪問 Aコース：十全化学株式会社 Bコース：株式会社廣貫堂 ○「薬種商の館　金岡邸」の見学
3日目	○県内製薬企業訪問 Aコース：株式会社富士薬品 Bコース：日東メディック株式会社

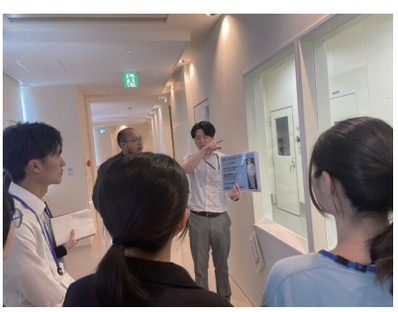

集合研修における経営者講話


薬種商の館「金岡邸」見学


企業での先輩社員との座談会


液剤の開発体験


打錠・コーティング工程の紹介

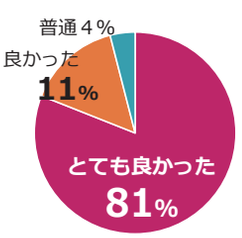

無菌製剤工程の見学

● 県内製薬企業訪問の感想

○品質管理、研究開発の棟、工場内部、本社など、とてもたくさんの内部を見せていただけることに驚いた。

○実際に研究開発にたずさわっている社員の方と一緒に開発体験ができ良かった。

○実際に働いている人や製造の仕組みを見ることで、製薬企業で働くイメージを具体的に持てるようになった。



● 県内製薬産業の印象・今後の将来について

○企業体験会に参加する前に思っていたよりも医薬品産業が非常に盛んであるという印象を受けた。実際に社員の方々からお話を聞いて、富山で就職することも選択肢に入れようと思った。

○今後も発展をしていくことが予想され、なんらかの形でくすりや富山に関わることができればいいと感じた。

○私は自分の進路について、業界も決め切れていない状態で参加したが、製薬業界にとても興味を持てたし、それぞれが自社の製品に自信を持っている姿がすごくかっこいいと思った。働く現場、輝いて活躍している人たちを見て、自分のロールモデル探しの参考にもなった。

受講生の皆さん、そしてご協力いただいた皆様へ

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コースは、今年度で 4年目を迎えました。今年度も、各分野で活躍される多くの専門家、県内製薬企業にご協力いただき、オンライン専門講座や現地企業体験会を開催することができました。本コースに多大なるご支援、ご協力をいただきました講師、企業をはじめとする関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。受講された皆さんには、本コースで得た学びや経験、そして新たな出会いを今後の学生生活や将来の進路選択に生かし、それぞれの道で大きく成長されることを心から願っています。

事業責任者　森　和彦

富山から世界へ 富山くすりコンソ 産学官共創プラットフォーム

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム人材育成事業実行委員会
（富山県／国立大学法人富山大学／公立大学法人富山県立大学／一般社団法人富山県薬業連合会）
富山県富山市新総曲輪１-７　富山県庁　　電話：076-444-3943